

# 第4回 光駅周辺地区拠点整備基本構想検討会議 (ver.2.0)

## 資料

### 目次

	ページ
I 前回会議からの課題	1
II 個別ヒアリングの報告（2～5回目）	3
III 若者ワークショップの報告	7
IV 構想検討フロー	12
V 地区に必要な役割と機能（案）	13
VI ゾーニング（案）	19
VII 今後のスケジュール	21

## 1 交通量算出の根拠と課題の再整理について

## (1) 推計場所の明確化

## (1) 瀬戸風線整備前後の交通量について〈整備前後の交通量比較〉

- 駅北側（北口付近）の交通量が増加  
（H22：約4,000台/24h⇒H42：約11,000台/24h） +7,000台/24h
- 駅南側（国道188号）の交通量が減少  
（H22：約38,000台/24h⇒H42：約17,000台/24h） ▲21,000台/24h

追記 ※駅西側（門蔵山付近）の断面交通量の推計

【出典】平成17・22年度道路交通センサスを踏まえた光市推計

## (2) 交通量の変化や新たな発生集中を踏まえた課題の再整理

## 追記 課題の認識として位置付け

## 4 主要交通結節点としての機能向上

本地区においては、鉄道はもとより、バス、タクシー、自家用車、自転車、徒歩など様々な交通が交差、接続しています。「光市地域公共交通網形成計画」では、本駅を「主要交通結節点」として、「主たる交通の拠点となり、主要幹線同士、主要幹線と幹線・支線の乗継が行われる」場所として位置付けています。

こうした位置付けを踏まえつつ、都市計画道路瀬戸風線の整備に伴う交通量の変化や本拠点整備による新たな発生集中交通など、本市・本地区をとりまく環境の変化を見据えた上で、本地区にふさわしい利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークを構築していく必要があります。

一方では、市民の移動における交通手段については、自家用車への依存率が高く、公共交通の利用者が少ない状況にあり、引き続き、一定の交通弱者の移動利便性を確保するためには、自家用車が利用しやすい環境づくりと公共交通の利便性向上、利用促進を両立し、主要交通結節点としての機能の向上を図っていくことが求められます。

2 整備の基本的な方向性（案）の再整理について

具体的な取組みの記述を後段に委ねることとし、方向性にふさわしい記述に修正

- (1) 記載内容の再整理（青字）
- (2) 「市民」⇒「人」へ
- (3) 「回遊」の要素を追加（回遊のキーワード追加、歩行者回遊ネットワーク）
- (4) 「玄関口」の要素を追加

“市民”だけでなく外から光に来る人“来光者”にも目を向ける観点をプラス

## 人をつなぐ

誰にもやさしい  
ユニバーサルデザインの  
回遊空間づくり

キーワード

安全・安心、利便性

- すべての人にやさしいユニバーサルデザインの考え方にに基づき、ハード・ソフトの両面から、誰もが安心して利用できる環境づくり
- 鉄道事業者との連携、協力のもと、駅南北地区の連携強化と安全を確保
- 歩行者が安心して通行でき、周辺居住者や来街者が徒歩圏の利便性を享受できる回遊ネットワークの確保
- 鉄道、バス、タクシー、自動車、自転車、徒歩など多様な交通の円滑な連携・接続とともに、安全を十分に確保した利用しやすい交通環境づくり

## 人がつどう

心やすらぐ  
癒しと活気が両立する  
空間づくり

キーワード

にぎわい、自然との調和

- 新たな都市機能の誘導と既存の都市機能の活性化による機能の集積と高度化を図り、市内外から人が集まり交流できる“来たくなる場所づくり”
- 虹ヶ浜海岸と地区の玄関口となる駅近接エリアとの一体感、連続感に磨きをかけ、“癒し”を提供する都市空間を創出
- ソフト事業を中心に、市民、事業者、行政など多様な主体が連携し、創意工夫を凝らしてにぎわいを生み出す仕掛けについて検討

## 人でつくる

未来につなぐ  
一人ひとりが主役の  
空間づくり

キーワード

協働、民間活力

- まちづくりへの参画を促進するとともに、まちぐるみ、地域ぐるみで地区の将来像を共有し、今後のあり方を考えていく機運の醸成
- 魅力的かつ効果的な事業推進に向け、民間のノウハウや企画力、資金などの積極的な活用を検討
- 時代の潮流や、日常的に駅を利用する市民、将来にわたって整備結果を享受する若者等の意向やニーズを、継続的、かつ的確に捉えた本市にふさわしい玄関づくり

まちぐるみで取り組む拠点整備の実現に向けて、地元の事情に精通される関係団体の皆様などから、拠点整備に関するご意向などをきめ細かくお聞きするため、少人数で個別にヒアリングを行うこととし、現在、順次取り組んでいます。

6月5日、**浅江商店会の皆さん**と、市の担当者において、地区の課題把握や整備の方向性、今後の具体的な取組みなどについて意見交換を行いました。

<いただいた主なご意見など>

<にぎわいの創出について>

- ・にぎわいをどのような創出していくかが課題
- ・市民だけで光市が潤うことは難しいのでは。（整備の基本的な方向性（案）の「市民」が主語になっていることを踏まえ）
- ・市外から人や企業を呼び寄せる（人口増加、企業誘致）ことが必要。
- ・市民ホールや文化センターが駅の近くにあるともっと人が集まるのでは。
- ・貨物列車の停車を促すなど、企業の物流ということも考えてほしい。
- ・虹ヶ浜沿いをウォーキングできような整備を。

<移住・定住について>

- ・交流人口よりも定住人口の増加を。
- ・空き家（一歩手前も含む）を使った移住定住の促進を。
- ・（人口定住を考えるにあたって）おっばい都市宣言の理念を踏まえた整備はよいのではないか。
- ・住む人を増やすにしても仕事が必要。

<土地利用について>

- ・光総合病院跡地は（現実的な側面も踏まえ）介護施設やホテルがよいのでは。
- ・光総合病院跡地にマンションは避けてほしい。
- ・（光高校と光丘高校の統廃合を受けて※）光丘高校跡地には学校が来てほしい。

<その他>

- ・（市内部の）商工観光課や広報・シティプロモーション推進室など横の連携をしっかりとってほしい。
- ・（総合的な観点を持つ必要性という視点から）駅は住みよいまちをつくるための要素の一つ。



まちぐるみで取り組む拠点整備の実現に向けて、地元の事情に精通される関係団体の皆様などから、拠点整備に関するご意向などをきめ細かくお聞きするため、少人数で個別にヒアリングを行うこととし、現在、順次取り組んでいます。

8月23日、**聖光高等学校の皆さん**と、市の担当者において、地区の課題把握や整備の方向性、今後の具体的な取り組みなどについて意見交換を行いました。

<いただいた主なご意見など>

<光駅周辺地区の将来像について>

- ・ 過度な都会化ではなく、（自然と調和した）住みやすい場所であってほしい。

<南北地区の連携について>

- ・ 虹ヶ丘跨線橋について、自転車も通行できるとよい。
- ・ 駅ホームの階段（乗り換え跨線橋）は高齢者にはきつい。

<待合環境、滞在空間について>

- ・ 勉強できる空間にカフェがほしい。テスト週間は多くの生徒がわざわざ徳山駅に行く。（光の図書館には行かない）
- ・ 気兼ねなく友達と話ができるスペースがほしい。
- ・ 電車の本数を増やしてほしい。⇒待合環境が充実すれば現状のままでもいい。
- ・ ホームの待合室を広くしてほしい。
- ・ 無料wi-fiがほしい。
- ・ 電車が来るタイミングのお知らせ（現状はパネルが光る、ベル）の充実を。

<虹ヶ浜海岸とのつながりについて>

- ・ ビーチサッカーやビーチバレーの大会があるとよい。
- ・ インスタ映えする景色を。
- ・ 海へのシンボルロードを。（電車を降りたら）海があることがわかるようなつくり。
- ・ 浜にサッカーゴールがあるとよい。

<その他>

- ・ 高校生がよく行く場所は、大手ハンバーガ店、モール、ボウリング、映画、ゲームセンター など
- ・ 自転車置き場に屋根を。
- ・ （部活帰りに寄れる）整体や鍼灸院がほしい。

まちぐるみで取り組む拠点整備の実現に向けて、地元の事情に精通される関係団体の皆様などから、拠点整備に関するご意向などをきめ細かくお聞きするため、少人数で個別にヒアリングを行うこととし、現在、順次取り組んでいます。

8月28日、**ぴよぴよ会（子育てサークル）の皆さん**と、市の担当者において、地区の課題把握や整備の方向性、今後の具体的な取り組みなどについて意見交換を行いました。

<いただいた主なご意見など>

<駅周辺にあってほしいものについて>

- 子どもを休憩させる、遊ばせる場所（授乳室やトイレ等も整備）
- （ゆったりとした時間を過ごす）カフェがほしい。
- ベビーカーの利用者にとって、エレベーターやエスカレーターは必須。
- ロータリーに送迎車両専用のスペース（屋根も）。現在の市営駐車場は子連れには遠い。
- チャイベビのようなもの。おもちゃがある場所。
- 子どものものを売るお店がほしい。

<虹ヶ浜海岸について>

- 海は、小さい子は行きづらい。（シャワー設備が不十分）
- 市内に小さい子用のプールはあるか？⇒虹ヶ浜にある。

<病院跡地について>

- 商業施設の誘致。

<公園について>

- チャイベビの次（小学生になったとき）にどこで遊ばせたらよいかわからない。
- 公園でゆっくり子どもを遊ばせている姿をあまり見ない。（ゆっくりできる公園がほしい）

<その他>

- 子育て世代が集まるためには、例えば子ども医療費助成の充実など、他のソフト面も含め、トータルで考える必要がある。

まちぐるみで取り組む拠点整備の実現に向けて、地元の事情に精通される関係団体の皆様などから、拠点整備に関するご意向などをきめ細かくお聞きするため、少人数で個別にヒアリングを行うこととし、現在、順次取り組んでいます。

9月19日、**光高等学校の皆さん**と、市の担当者において、地区の課題把握や整備の方向性、今後の具体的な取り組みなどについて意見交換を行いました。

<いただいた主なご意見など>

<駅とその周辺施設について>

- 駅のトイレ改善を。
- 待ち合いのイスが少ない。また、待つところが寒い。（室内の待ち合い充実を）
- 空調を整えてほしい。
- 改札が1箇所では混雑するため、複数ほしい。改札を通った後も階段のところで混雑する。
- 駐輪場の屋根設置を。

<駅周辺にほしい機能について>

- ショッピングモールのような商業施設がほしい。
- カフェはあってほしい。大手コーヒーチェーン店を目的に、わざわざ徳山駅に行く。
- 徳山駅に勉強しに行くこともあるが、図書館のイスが少ないので座れないことも。
- 駅舎を橋上化した後の現在の駅舎跡地に交流スペースを。（イスとテーブルがあるだけでも使う）
- ネットカフェのような滞在し、遊べる場所がほしい。（逆に）ネットカフェは治安の面から不安。また、高齢者には不要。
- 高校生が買うような服の店がほしい。

<虹ヶ浜海岸、駅とのつながりについて>

- 虹ヶ浜に行って待ち時間をつぶしたりする。駅にいるよりも海に。
- 一年中人が来られるように。冬イルミ、春こいのぼり、浜辺のスポーツなど。
- 駅からか、橋上化した橋の上から海が見えるようになってほしい。
- （人が集まる場所にしては）浜線は狭く感じる。

<バスについて>

- JRバス以外のバスがわかりにくい。もっと宣伝してほしい。
- ぐるりんバスの地図（路線図）がわからない。

<現・光総合病院の活用について>

- 駅からは若干距離があると感じる。雨が降るといかない距離。
- 海が見えるガラス張りの建物があると魅力的。

8月3日と18日、拠点整備に関する若者の意向把握やグループワークを通じた独創的な発想をまちづくりに活かすことなどを目的に若者限定のワークショップを実施しました。テーマは「こちら、『週刊光市』編集部。『これが光駅周辺の未来だ！』を特集せよ。」。光駅周辺の未来について、「週刊光市」という架空雑誌の特集記事を編集する設定で、28人、4グループ（編集部）が参加。若者ならではのユニークな発想を活かした光駅周辺地区の未来を提案していただきました。

- 日 程 平成30年8月3日（金）、18日（土）
- 場 所 光市役所3階 大会議室
- 参加者 28人（1回目26人、2回目25人）
- 内 容
  - ・ 1回目 未来志向のトレーニング、グループ分け、編集会議の1回目 など
  - ・ 2回目 編集会議の2回目、中間プレゼン、最終プレゼン、明日からのアクションに向けた宣言 など
- グループごとの特徴的な提言内容《次ページ以降参照》
  - A：光ロード（駅～虹ヶ浜間）、ホームに砂浜、観光客もふるさと感じる など
  - B：虹の海道（海まで続く遊歩道）、マルシェ、チャレンジショップ、大型スクリーン など
  - C：西の湘南へ、湘南ロード、SNS映え、病院まで自動運転のバス、出張所、託児所 など
  - D：ゆりかごから墓場まで、現病院をコンバージョン（クリニックほか）、ビーチヨガ など

<当日の様子>



<参加者の皆さん>





# ☆Aグループ

## これが の未来だ!

～私たちの心るさと  に  輝くまちになります～



2018.08.18 通利光市橋集団 GroupA

- ★ つながる光
- ★ にぎわう光
- ★ あんぜんな光
- ★ かがやく光
- ★ べんりな光
- ★ あたためる光
- ★ うみのある光

線路で隔れる駅の北側に南側に駅橋上化して併せて道路を整えている。ex) 新橋駅

市立病院跡地に大型ショッピングセンターと駅周辺に"にぎわい"が創りだされている。

エレベーター、スロープの設置、段差の廃止と実現設備のバリアフリー化のほか、心のバリアフリーも実現している。

白砂青松の虹ヶ浜海岸をはじめ、光市にある多くの自然を活用。ex) 光ロード

光駅に公共交通機関を集中させ、電車だけでなく、バス、99シ、自転車等の各交通手段の活用を図る。ex) バイパス

性別、国籍、年齢に関わらず誰もがいつでもどこでもつなげる場所にする。ex) 多言語看板、親子遊歩道公園

ホーム内列り、瞬間に、光市の顔である虹ヶ浜海岸を感じられる場所にする。ex) ホーム改修



# ☆Bグループ


光駅に

## 虹の海道誕生!?

海まで続く遊歩道

- ・自慢の海へのアクセスが良くなる
- ・遊歩道から美しい海が一望
- ・海を感じさせるデザイン

そうだ!海へ行こう!!



改札口は2階!!

大型スクリーン出現!!

- ・L1ファ山口の公式戦
- ・光市の観光スポットが一目で分かる
- ・待ち時間の解消
- ・臨場感ある大スクリーンでイベントを楽しもう!!

マルシェもあるよ!!

- ・毎月第1,第3土曜日にマルシェ開催!
- ・常設のチャレンジショップ! 出店料無料!!  
光が自分の店を持つ!!
- ・イートスペースもある! その場で買って食べちゃう!!

海だけじゃない! 光の魅力!!

南北をつなぐ橋  
輝く海を一望

こちら「週刊光市」編集部。B班



# ☆Cグループ

こどもからお年寄りまで  
安心して利用できよう海へ!

マリンスポーツ  
トイレ・シャワー完備  
アザヒンが統一されたお店  
歩きやすい遊歩道  
安全な遊具公園  
イベント

西の湘南ロードで  
海までの道を楽しみ歩こう

♪ 夏らしいBGM (落着いたやつ)  
♪ 海までタクシー  
♪ SNS映え (撮影スポット)  
♪ クリーンな道 (ゴミの分別)

病院、福祉施設まで自動運転で  
お預かりします!

駅の橋状化で  
南北の行来が  
便利に!!

待ち時間ナシ!

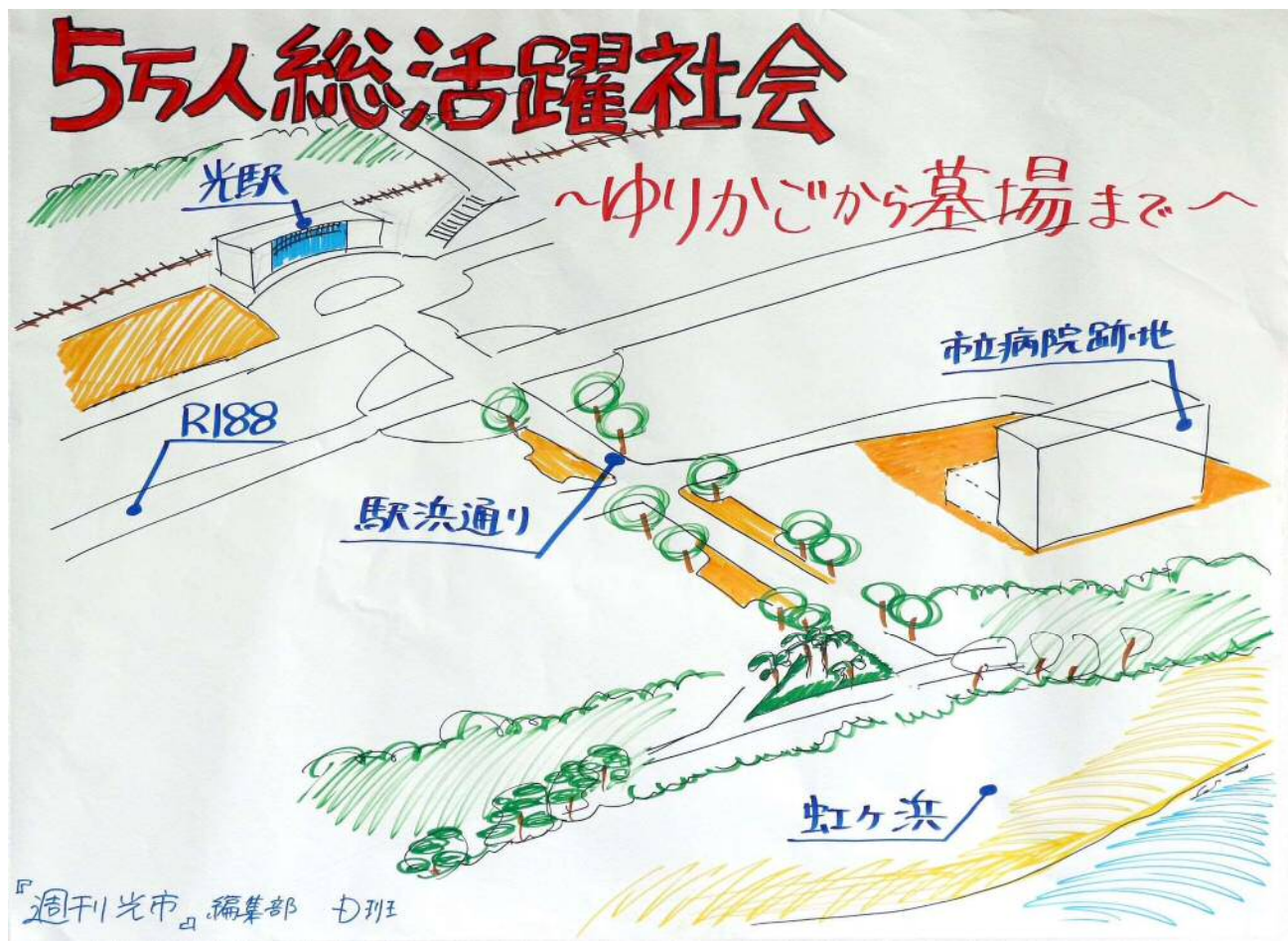
馬のホームで光市の観光PR (お土産販売)  
・出張所、託児所  
・フリーWiFi (ログイン画面でも告知)  
・バリアフリー (お年寄り、子連れにやさしく)  
・駐車場の拡大 (立体駐車場など)

光、西の湘南へ!!!

Cグループ

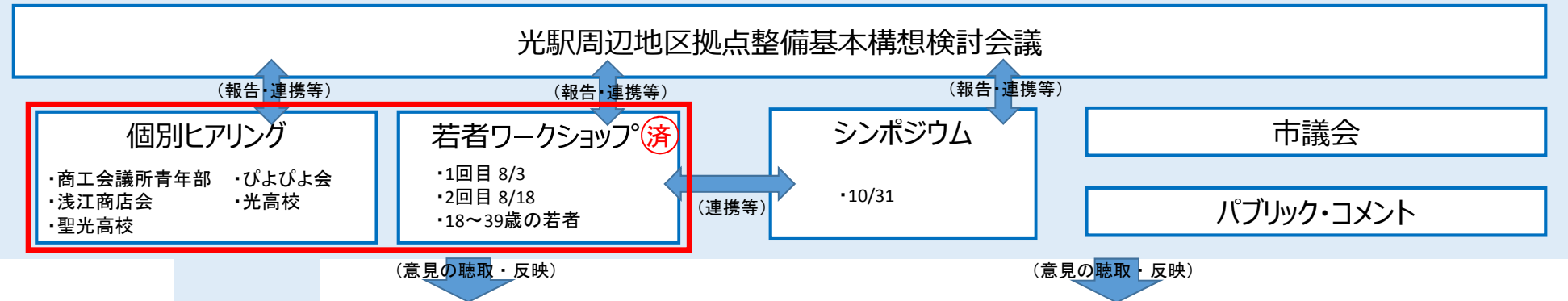


# ☆Dグループ

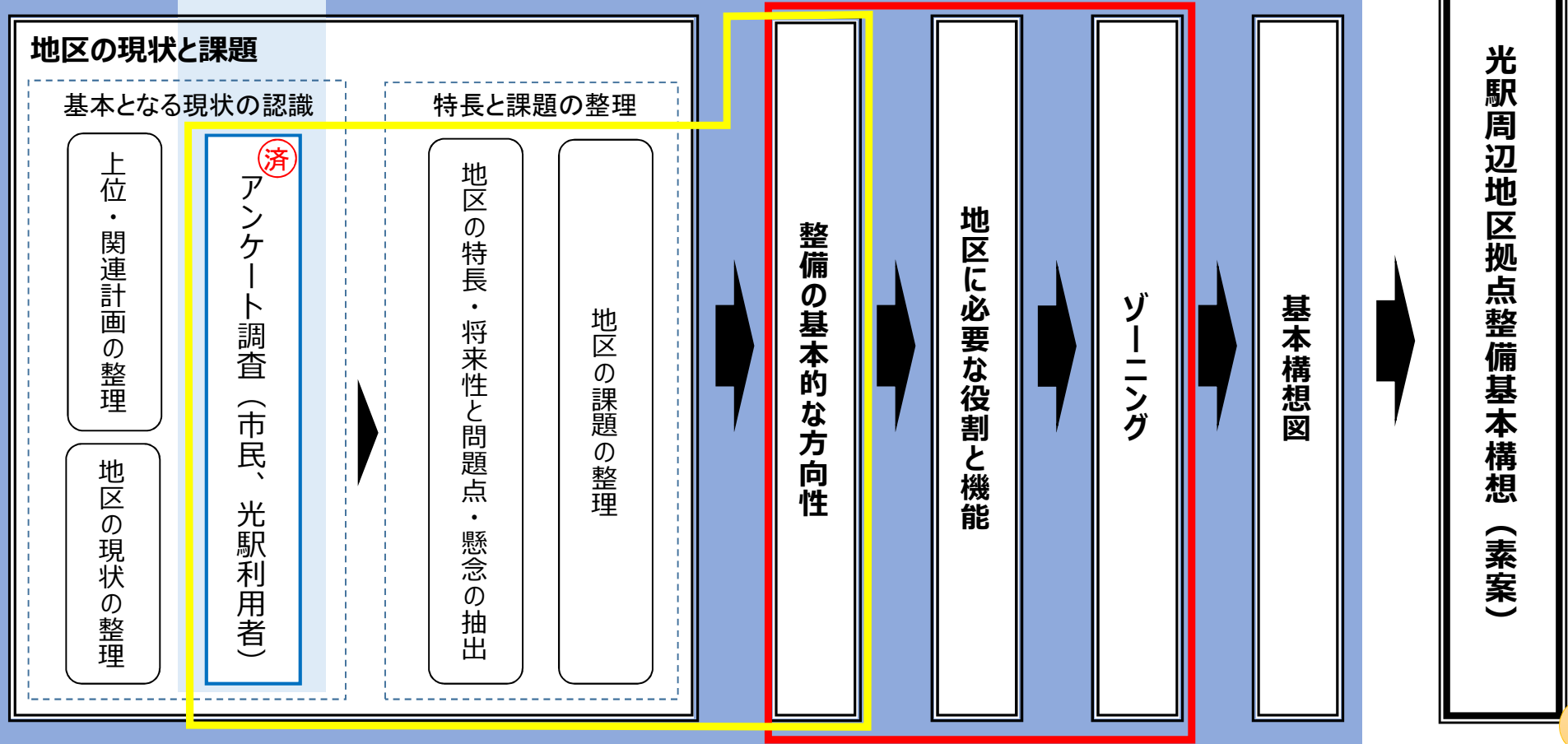




【意見聴取・合意形成の場や機会】



【構想の構成】



**整備の基本的な方向性(案)**

**人をつなぐ**

誰にもやさしいユニバーサルデザインの回遊空間づくり

- ① すべての人にやさしいユニバーサルデザインの考えに基づき、ハード・ソフトの両面から、誰もが安心して利用できる環境づくり
- ② 鉄道事業者との連携、協力のもと、駅南北地区の連携強化と安全を確保
- ③ 歩行者が安心して通行でき、周辺居住者や来街者が徒歩圏の利便性を享受できる回遊ネットワークの確保
- ④ 鉄道、バス、タクシー、自動車、自転車、徒歩など多様な交通の円滑な連携・接続とともに、安全を十分に確保した利用しやすい交通環境づくり

**人がつどう**

心やすらぐ癒しと活気が両立する空間づくり

- ① 新たな都市機能の誘導と既存の都市機能の活性化による機能の集積と高度化を図り、市内外から人が集まり交流できる“来たくなる場所づくり”
- ② 虹ヶ浜海岸と地区の玄関口となる駅近接エリアとの一体感、連続感に磨きをかけ、“癒し”を提供する都市空間を創出
- ③ ソフト事業を中心に、市民、事業者、行政など多様な主体が連携し、創意工夫を凝らしてにぎわいを生み出す仕掛けについて検討

**人でつくる**

未来につなぐ一人ひとりが主役の空間づくり

- ① まちづくりへの参画を促進するとともに、まちぐるみ、地域ぐるみで地区の将来像を共有し、今後のあり方を考えていく機運の醸成
- ② 魅力的かつ効果的な事業推進に向け、民間のノウハウや企画力、資金などの積極的な活用を検討
- ③ 時代の潮流や、日常的に駅を利用する市民、将来にわたって整備結果を享受する若者等の意向やニーズを、継続的、かつ的確に捉えた本市にふさわしい玄関づくり

整備の基本的な方向性を踏まえ、地区に求められる5つの「役割」とそれを実現するための「機能」を整理しました。

- 役割 1**

**市民や来光者の利便性を高めるための 円滑接続機能**

① ② ④ ①
- 役割 2**

**若者居住を促進するための QOL※向上支援機能**

③ ① ② ③

※Quality Of Life
- 役割 3**

**“来たくなる”魅力を生み出すための 交流・集客機能**

① ② ③ ①
- 役割 4**

**安全と安心をつくるための 防災（減災）・防犯機能**

① ③ ④ ①
- 役割 5**

**新しい価値を生み出すための 協働・連携機能**

① ③ ① ② ③

**役割 1 市民や来光者の利便性を高めるための 円滑接続機能**

**【施策例】**

- ▶ 南側・北側エリアの結節強化、機能の充実

エリア結節

※取組みの一例※

- ・JR光駅の橋上化と虹ヶ丘跨線橋の一体的整備
- ・南北自由通路の確保・充実（歩行者等）

→南北移動のバリアフリー化などにより、市の玄関口としての機能の充実を図る。

- ▶ 市内外からの交通結節機能の充実

交通結節

※取組みの一例※

- ・南北駅前広場（駐車場・駐輪場、ロータリー等）の整備
- ・乗り換え、送迎環境の充実

→駅前空間の機能の再配置により、新光総合病院との連絡をはじめとした公共交通等の利便性の向上を図る。

- ▶ 駅近接エリアの利便性の向上

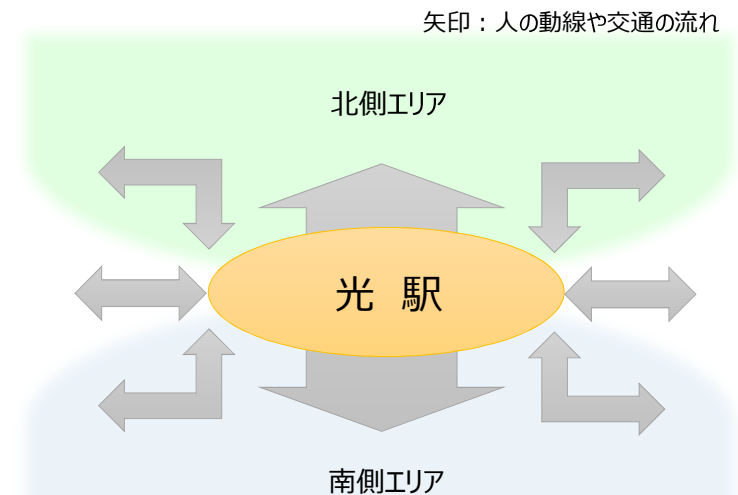
駅利用利便

※取組みの一例※

- ・待ち合い環境の充実や滞在空間の確保
- ・情報発信機能やトイレ等の利便設備の充実

→設備等の充実により、学生、高齢者、来街者等の駅近接エリアの利用者の満足度向上を図る。

**【イメージ図】**



自由通路の確保・充実  
待合環境の充実や滞在空間の確保  
(宮崎県延岡市)

**役割 2 若者居住を促進するための QOL※向上支援機能**

※Quality Of Life: 物質的な豊かさよりも人生の質や生活の質に重点を置く考え方

**【施策例】**

- ▶ 生活の質を高める多様な都市機能の誘導 生活利便

※取組みの一例※

- ・まちの個性や利用者ニーズに合わせた多様な施設等の立地促進（商業施設、子育て空間など）

→買い物・飲食、子育て支援、行政サービス、医療等、多様な機能の立地を促進し、利便性の高いエリアを形成する。

- ▶ エキソバにある快適な住まいの確保 居住

※取組みの一例※

- ・新たな居住誘導策の検討

→徒歩生活圏の利便性の高いエリアに居住を促進し、将来にわたって拠点的なエリアを形成する。

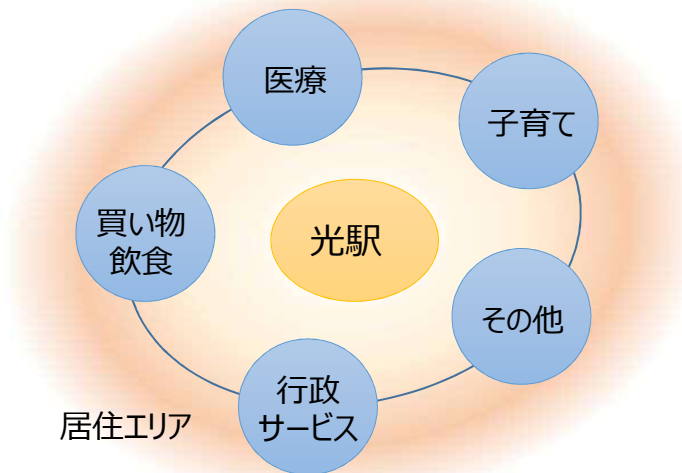
- ▶ 生活の潤いを実感するレクリエーション空間の創出 潤い創出

※取組みの一例※

- ・虹ヶ浜海岸の保全と活用
- ・ウォーキングなどを楽しめる回遊ルートの検討

→多世代が利用し、憩える空間づくりにより、健康的な暮らしを提供するエリアを形成する。

**【イメージ図】**



まちの個性や利用者ニーズに合わせた多様な施設等の立地促進（北海道上川郡東川町）



生活の潤いを実感できるレクリエーション空間の創出（千葉県柏市）



**役割3 “来たくなる”魅力を生み出すための 交流・集客機能**

**【施策例】**

- ▶ 自然と調和するシンボリックな景観づくり

景観

※取組みの一例※

- ・「まちの顔」としてシンボルとなる施設や空間の検討
- ・光駅～虹ヶ浜海岸の連続性演出の検討

→光駅から虹ヶ浜へ通じる景観を意識した、歩行者の快適性や眺望の確保を図る。

- ▶ 多世代が滞在・交流できる空間の創出

交流

※取組みの一例※

- ・多世代が交流できる施設やオープンスペース（広場）の検討
- ・待ち合い環境の充実や滞在空間の確保（再掲）

→まちを訪れる人々が滞在し、交流を促す空間づくりにより、まちなぎわいを演出する。

- ▶ 観光資源の付加価値創出と魅力の波及

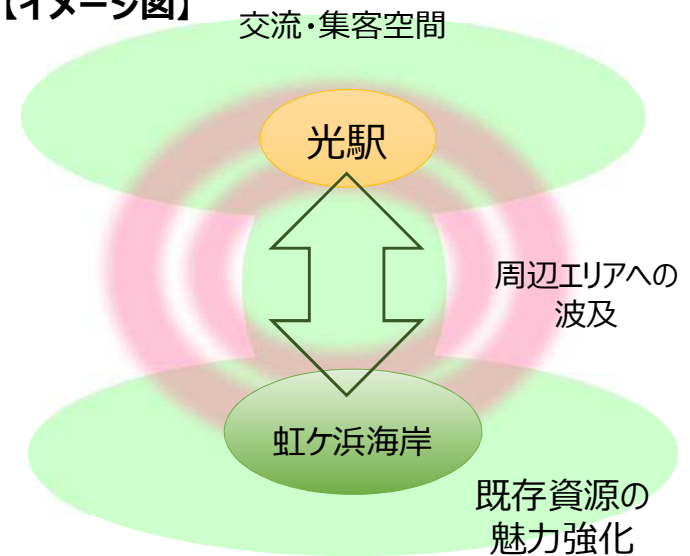
観光

※取組みの一例※

- ・虹ヶ浜海岸の保全と活用（再掲）
- ・フォトジェニックな空間の演出

→観光資源を活かした空間づくりにより、エリア全体に魅力を広げる。

**【イメージ図】**



「まちの顔」としてシンボルとなる空間（神奈川県横浜市）



多世代が交流できる施設やオープンスペース（愛媛県松山市）

**役割4** 安全と安心をつくるための **防災（減災）・防犯機能**

**【施策例】**

- ▶ 移動の安全性を高める機能やデザインの実現

バリアフリー

※取組みの一例※

- ・エリアの一体的、連続的なバリアフリー化に向けた検討
- ・わかりやすい案内サインの検討

→一体的な空間デザインにより、子どもからお年寄りまで多世代が利用しやすいエリアを形成する。

- ▶ エリアの防災性の確保（ハード／ソフト）

防災(減災)

※取組みの一例※

- ・避難場所の指定（民間施設）
- ・一時的な避難場所となるオープンスペース（広場）の検討

→多様な災害を想定し、居住者・来街者の安全を確保する。

- ▶ 安心して利用できる防犯性や交通安全の確保

防犯・交通安全

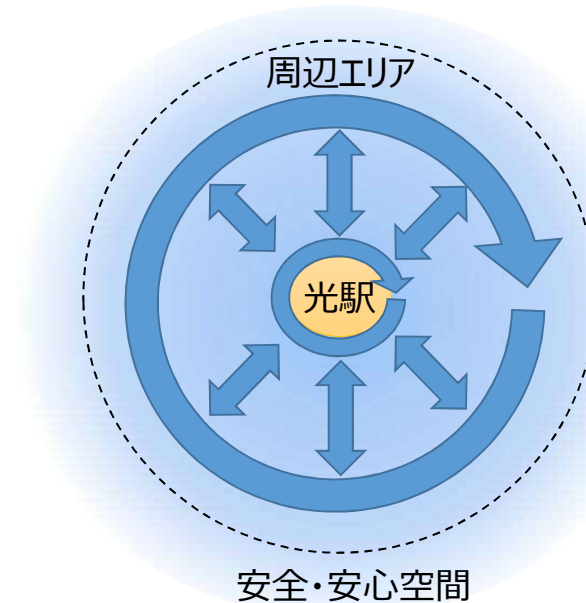
※取組みの一例※

- ・照明設備などの設置促進
- ・乗り換え、送迎環境の充実（再掲）

→防犯機能の強化と交通安全の面から、誰もが安心して利用できるエリアを形成する。

**【イメージ図】**

矢印：安心移動線



来街者にもわかりやすい案内表示の整備（千葉県柏市）

## 役割5 新しい価値を生み出すための 協働・連携機能

### 【施策例】

#### ▶ 協働と連携の空間づくり

協働

※取組みの一例※

- ・多世代が交流できる施設の検討（再掲）
- ・エリア一体で、多様な主体が連携するイベント等の仕掛け

→まちに関わる人々の居場所を確保することで、協働と連携の取組みを活発化する。

#### ▶ 官民連携事業の推進

連携

※取組みの一例※

- ・官民が連携した施設整備や機能誘致の検討
- ・民間活力による地域づくりの調査・研究

→施設整備や運営ノウハウ等への民間活力の導入を視野に、発展的な整備を目指す。

#### ▶ まちづくりに触れる機会の提供

人財(担い手)

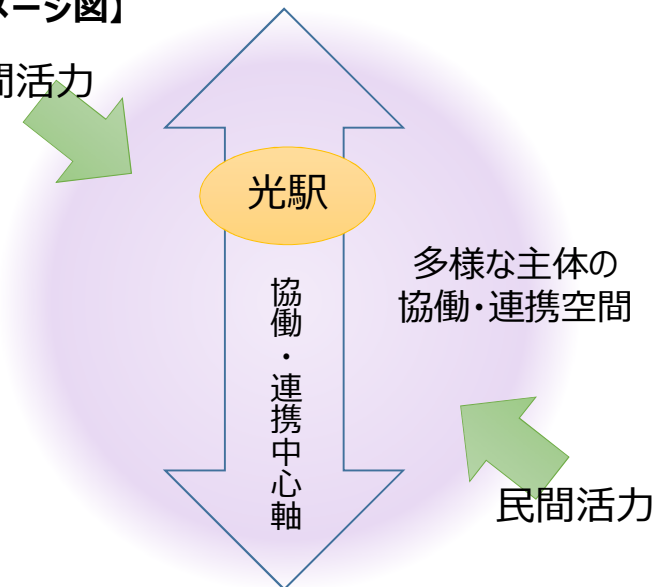
※取組みの一例※

- ・ワークショップなどの新たなまちづくりの担い手を育成する取組みの推進
- ・エリア一体で、多様な主体が連携するイベント等の仕掛け（再掲）

→まちづくりに触れる機会を積極的に設けることで、新たな人材発掘や連携体制の構築を推進する。

### 【イメージ図】

民間活力



エリア一体で多様な主体が連携するイベント（広島県広島市）

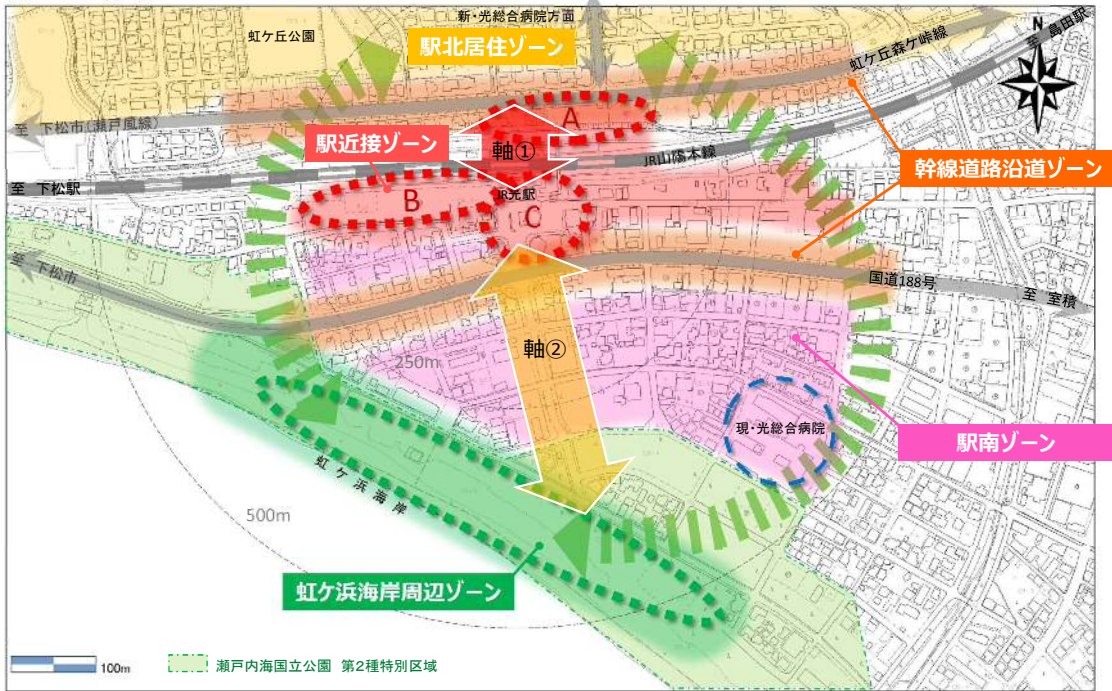


官民が連携した施設整備や機能誘致（大阪府大阪市）



光駅周辺地区において、機能・規模等からみて拠点性があり、地区に「にぎわい」や「うるおい」を生み出す「駅近接ゾーン」、「虹ヶ浜海岸周辺ゾーン」の2つのゾーンと、重点的に「回遊」を生み出す「駅南ゾーン」、また、本市最大の人口（居住）が集中する虹ヶ丘団地を中心とする「駅北居住ゾーン」、幹線道路沿いの利便性と賑わいを創出する「幹線道路沿道ゾーン」、さらに、それらを有機的に結び、まちの連携と人の回遊を生み出す軸について、整備に向けた考え方を示します。

《ゾーニング図》



《ゾーンと軸の整備に向けた考え方》

**駅近接ゾーン**  
駅及び南北地区をつなぐ交通・交流の結節ゾーン

駅と南北自由通路、南口・北口の駅前広場を含むゾーンで、市の玄関口として、駅の円滑な利用や待ち合いをはじめ、南北地区の連携、交通の結節を担う空間として位置付ける。

<b>A</b>	瀬戸風線の開通や光総合病院の開院を見据え、利便性が高く通院者にもやさしい駅前空間の機能の再配置を行う。
<b>B</b>	駐車場機能を維持しつつ、民間活力の活用も視野に、土地の高度利用化も見据えた多様な都市機能の誘導・集約を検討する。
<b>C</b>	海を意識した開放的な空間づくりの検討とともに、「B」と併せて利便性が高く安全な駅前空間の機能の再配置を行う。

**幹線道路沿道ゾーン**  
域内交通・通過交通を見据えた商業等が集積するゾーン

駅南側を通る国道188号及び北側を通る虹ヶ丘森ヶ崎線の沿道で構成するゾーン。域内だけでなく通過交通も見据え、沿道型商業施設等の集積を促進する空間として位置付ける。

**駅北居住ゾーン**  
良質な居住空間を保持しながら新たな居住者を呼び込むゾーン

虹ヶ丘団地を中心に、駅近接の利便性を活かし、新規住民の移住・定住の促進や安全・安心な地域づくりにより、持続的な住宅地の形成を目指す空間として位置付ける。

**軸① 南北地区結節軸**  
虹ヶ丘跨線橋を中心とした南北をつなぐ軸

誰もが地区間を自由に、安全に、円滑に移動できるよう、駅と一体的なバリアフリー化に向けて取り組む。

**軸② なぎさの景観軸 (連携・協働軸)**  
駅近接エリアと虹ヶ浜海岸周辺エリアをつなぐ軸

「海」との一体感や連続感を演出し、シンボルとなる景観づくりを行う。また、ソフト面を中心に多様な主体が連携・協働し、回遊促進の中核を担う。

**虹ヶ浜海岸周辺ゾーン**  
虹ヶ浜海岸とその周辺のうるおいあふれるレクリエーションゾーン

美しい景観や自然環境の保全を図りつつ、観光資源を活かした交流・レクリエーション機能を付加することで新たな魅力を生み出す空間として位置付ける。

**駅南ゾーン**  
周辺の拠点的ゾーンを有機的につなぐ重点的に回遊を創出するゾーン

立地特性を活かし、快適性を高める機能や施設等の立地、安全性の確保、景観の整備などについて、ハード、ソフトの両面から検討し、回遊を生み出す空間として位置付ける。





## ■（参考）用途地域の指定の状況

